



ハトダヨ
2021年
9月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館 指定管理者
図書館流通センター・マルエイヘルシーサービス共同事業体
〒040-0001 北海道函館市五稜郭町 26 番 1 号
TEL (0138) 35-5500 FAX (0138) 35-5525

函館市中央図書館だより

第64号 令和3年9月1日 発行

予約 ランキング

予約数の多い本ランキングを紹介
します。こちらを参考に読みたい
本を探すのも一つの方法です。

＼令和3年8月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています／

- | | | |
|----|-------------|------------|
| 1 | 白鳥とコウモリ | 東野 圭吾／著 |
| 2 | 52ヘルツのクジラたち | 町田 そのこ／著 |
| 3 | 小説8050 | 林 真理子／著 |
| 4 | にぎやかな楽日 | 朝倉 かすみ／著 |
| 5 | 元彼の遺言状 | 新川 帆立／著 |
| 6 | 魂手形 | 宮部 みゆき／著 |
| 7 | オムニバス | 誉田 哲也／著 |
| 8 | 琥珀の夏 | 辻村 深月／著 |
| 9 | クララとお日さま | カズオ・イシグロ／著 |
| 10 | あの日、君は何をした | まさき としか／著 |

図書館俳句ポスト受賞者

5月に図書館俳句ポストへ応募された中から
選ばれた作品です。お題は「新茶」。

入選

シャボン玉吹いてすかさず歌が出る
薄紅の花弁のままに花の散る
われもまたノマドの民よ蝸牛
家いえに花咲きあふる五月晴

佳作

鯉はねて大きくゆれし花筏
真つ先に父に供える新茶かな
新茶の香とほき佳き日の塩むすび
古戦場マロニエの花続く道
ひょうひょうと新茶の碗に雲の影

中野 良子
白澤 紀恵子
杉女
練合 陽子
齋藤 法
村田 鈴音
高桑 祐子
中野 ハヤ女
安福 巖




9月1日は防災の日です。この日は関東大震災が発生した日であり、台風シーズンを迎える時期でもあることから防災への心構えを準備するという意味で「防災の日」が創設されました。この日を含む1週間は「防災週間」とされています。日本は自然災害が少なくありません。この機会に「もしも」に備えて防災グッズの準備や点検、家族で防災や防災グッズについて話し合いをするなどして知識と防災に対する意識を高めていきましょう。

8/28(土)

開架展示:

~9/23(木)

もしもに備える「防災」



ハトダヨにしか
載っていない!

ぜひ読んでみてください!

スタッフのおすすめ本

棚：A4～A6
請求記号：210.25 せ

タイトル：「**縄文人になる!**」

著者：関根 秀樹 出版社：山と溪谷社（2002年2月）

今年7月に北海道・北東北の縄文遺跡群が世界遺産に登録されることが決定されました（函館では垣ノ島遺跡、大船遺跡が含まれます）。そのことで今、縄文文化が注目を浴びています。では縄文人はいったいどんな暮らしをしていたのでしょうか？そんな疑問に答えるヒントがこの本には載っています。著者の関根秀樹が火起こしから黒曜石ナイフ、縄文式土器やどんぐりクッキーなど多岐にわたる縄文の技術を、実践を交えながら紹介していきます。中には丸木舟や竪穴式住居など実際に作るには難しいものもありますが、この本を通して縄文人の暮らしを想像してみるのはいかがでしょうか。

棚：A16～18
請求記号：493.64 か

タイトル：「**逝かない身体**」

著者：川口 由美子 出版社：医学書院（2009年12月）

ALS（筋萎縮性側索硬化症）を発症した母を12年間にわたって介護した体験と、そこから得た「個人的死生観」が記されています。

全く意思疎通ができなくなってからは、体温や汗・血圧などから母の気持ちを読み取るようになり、「尊厳死」にたいする考え方が変わっていきます。

読み進めて、ALSという病気がとても残酷で切なくなるのですが、その内容とは裏腹に文章がとても読みやすく力強いのです。そこに希望も感じられ「生きる」ということや「いのち」について深く考えさせられます。

棚：J3～6
請求記号：E 汗

タイトル：「**ごちそうたべにきてください**」

茂市 久美子／作 しもかわら ゆみ／絵 出版社：講談社（2021年1月）

山の大きな木の中に住んでいるウサギは、ごちそうするのが大好き。秋になると木の実をたくさん集めて山の動物たちへ手紙を書きます。招待された動物たちはとても喜んでくれて、ウサギも嬉しい日々を過ごしていました。冬が近づき、ごちそうする木の実が全部なくなってしまったある日、ウサギのもとへやってきたのは…。

美しい絵と優しさいっぱいのお話に、移りゆく季節を感じる絵本です。

館長随想 (六四)



昨年の新型コロナ感染以来、講演を頼まれることはあまりなくなりましたが、九月に二回頼まれています。なぜか両方とも岡田健蔵についてでした。岡田健蔵は、函館の図書館を築いた父ともいえる人です。中央図書館内には彫刻家梁川剛一が作った胸像が置かれています。これが岡田健蔵です。

明治十六年函館に生まれた岡田は、生業にしていたロウソク作りの製法研究をしていて、手に入る資料があまりに少ないことから図書館開設を思いつきました。明治四十年、自宅に文庫ともいえる本を少し置いて図書館を始めました。次々に協力者を見つけ、明治四十二年、函館公園内にあった黒田清隆が作った協同館を借りて私立図書館を立ち上げます。大正五年には北海道では初めて鉄筋コンクリート造りの書庫、昭和三年には本館を建設し、図書館は私立から公立になり市立函館図書館が誕生しました。

この図書館は様々な工夫がなされ、当時の日本ではトップクラスの図書館で、東京から来た図書館関係者が驚くほどだったといえます。建物、設備だけではなく、蔵書、資料も一級品でした。岡田は、何度も火事、大火を経験し、耐火建築の図書館にこだわりました。この図書館から現在の中央図書館になっても、岡田が集めた貴重な資料は引き継がれています。

函館文学館での講演会では、そんな岡田健蔵の一生を話しますので、よろしければご参加ください。

函館文学館 文学のみちしるべ

「図書館の歩みと岡田健蔵」

講師 丹羽秀人(函館市中央図書館館長)

日時 9月18日(土)午後2時

参加費 500円(ぎいだん友の会会員の方は400円)

定員 30名

※参加ご希望の方は事前のお申し込みが必要です。

電話にて文学館(22-9014)までお問い合わせいたします。

デジタル資料館 紹介



バスセンターに新車庫完成(ph004087)

高砂町にあったバスセンターの拡張工事に関する新聞記事に掲載された写真です。

この拡張工事では車庫が増設され、コンクリート舗装の駐車場とガソリンスタンドが新しく設置されたそうです。(参考：昭和34年9月4日付 北海道新聞)



謎解きにチャレンジ



問題

作家の名前や本のタイトルから問題を作っています。図書館に訪れている皆様でしたら、楽しみながら解くことが出来るのではないのでしょうか？
9つのクイズを解き、太枠に当てはまる言葉は何か考えてみてください。

- ① 8月の図書館予約ランキング1位の本は「○○○○○とコウモリ」！
- ② 2021 このミステリーがすごい！大賞 大賞「○○○○の遺言状」
- ③ 自分の人生を家族に搾取されてきた女性と、母に虐待されていた少年。孤独なクジラになぞらえた2021年本屋大賞受賞作を書いたのは誰？「○○○○○○」
- ④ 心淋しと書いて、ウラサビシと読ませます。第164回直木賞作家「○○○○○奈加」
- ⑤ 今年の読書週間・函館市中央図書館の作家講演会は○○○○幸也さんです！！
- ⑥ 誉田哲也の・姫川玲子シリーズ最新作のタイトルは？「○○○○○」
- ⑦ 人気作家で作詞家、元横綱審議委員会委員でもあります。「○○○○○牧子」
- ⑧ 80年代はananでルンルン、90年代は白蓮れんれん、今は8050問題と、常に時代の話作を生み出す女性作家。「○○○○○○」
- ⑨ 「推し、燃ゆ」が芥川賞受賞で一躍有名に。1999年生まれの若手作家「宇佐見○○」

			④						
		③							
	②			⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	
①									

ワードはすべてカタカナで入ります。縦に回答のワードを入れます。太枠の文字を横につなげると…？



ヒント

ハトダヨ9月号を、じっくりお読みください。

答え

